

第13回松本市西部地域公共交通協議会次第

日 時 平成22年7月15日(木)
午後2時から
場 所 あがたの森文化会館
2-8会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

- | | |
|--------------------------------|------|
| (1) 第12回開催結果について | 資料 1 |
| (2) 西部地域コミュニティバスの利用状況について | 資料 2 |
| (3) 安曇・奈川・波田地区住民の移動実態調査の実施について | 資料 3 |
| (4) 西部地域コミュニティバス出発セレモニーについて | 資料 4 |
| (5) その他 | |

4 その他

5 閉 会

第12回開催結果について

1 第12回松本市西部地域公共交通協議会

(1) 開催日時

平成22年6月25日(金) 15時30分～16時30分

(2) 場所

あがたの森文化会館 講堂ホール

(3) 会議事項

ア 第11回開催結果について

イ 平成22年度事業計画変更(案)及び補正予算(案)

ウ 住民意見交換会の開催結果について

エ コミュニティバスの実証運行(案)について

オ 松本電気鉄道梓川線及び神林・水代線の休廃止について

カ ポイントカード事業の実施について

キ 安曇・奈川・波田地区公共交通現況把握調査実施について

(4) 会議で出された主な意見等

項目	意見等
住民意見交換会の開催結果について	○島内地区の意見交換会では、コミュニティバスが流す音楽がうるさいという意見が出されたが、他の地区はどうか。 ⇒今井地区では、音楽が流れていることでコミュニティバスに対して住民が関心を持った。音がうるさいという話は聞いていない。 ⇒笹賀地区では、一部、寝ていた子供が起きるという話も出たが、大勢としては問題なし。
コミュニティバスの実証運行(案)について	○回数券に有効期限はあるか。 ⇒回数券も実証運行の一環なので、平成24年3月までの設定となる。券には期限を明記する。
ポイントカード事業の実施について	○カードの裏にある「お名前」に合わせて、「住所」も「ご住所」にした方がよい。 ⇒訂正する。
その他 (山形村からの意見について)	○山形村にとってのこれからの課題として、JRや病院との接続があるが、コミュニティバスが通ることによって村井駅に接続されたり、病院に行けるようになる。村長、村議会議員も今回の提案について喜んでいる。山形村では福祉バスが運行されており、高齢者が保健センターや買物に行くのに利用されているが、松本市のコミュニティバスが通ることによって選択の幅が広がることから期待している。利用率がバス運行維持に関わるとのことなので、村としてもPRに努め、活用していくようにしたい。

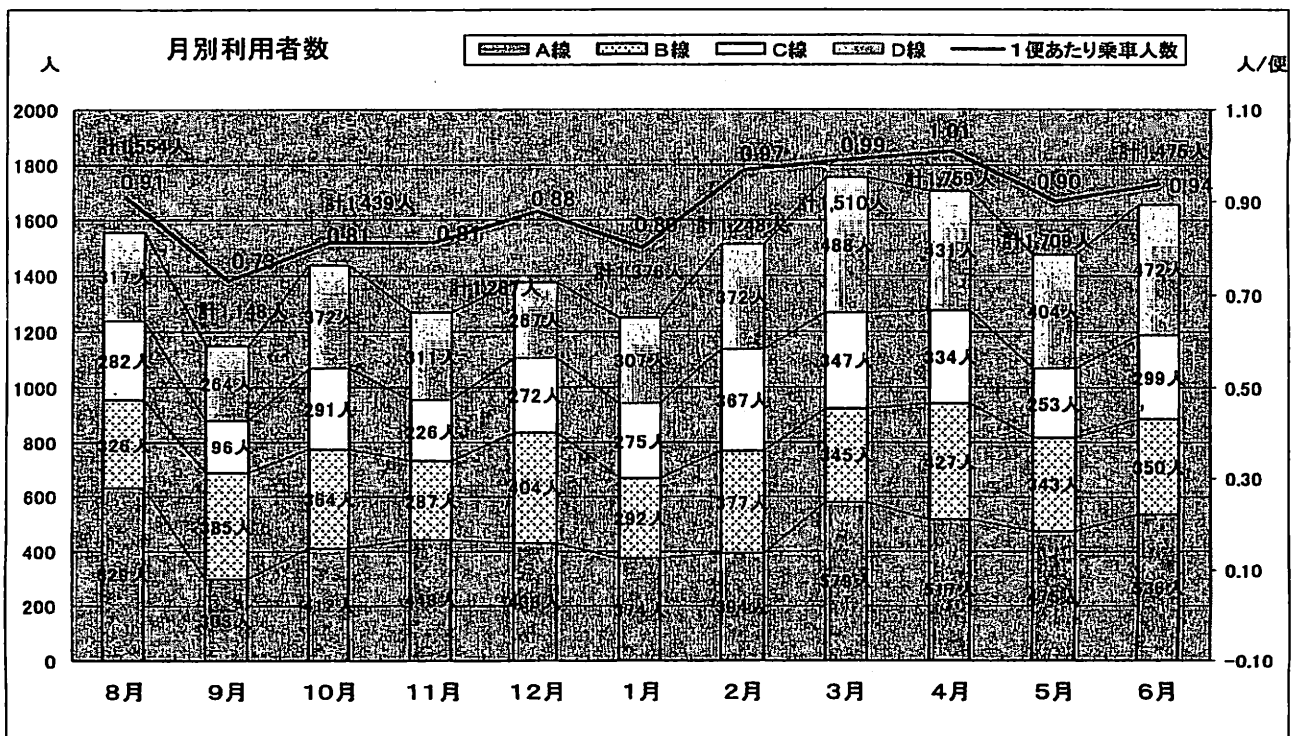
<p>その他 (地域公共交通活性化・再生総合事業の国庫補助の減額について)</p>	<p>○平成22年度の補助について、要望額の半分以下ということで、縮小見直しされることについては申し訳ない。平成22年度予算については、平成21年の夏には60億円の予算請求をしていたが、政権交代や事業仕分けなどにより40億2千万円ということになってしまった。行政レビューでは一旦廃止し、他事業に移管となった。本省では、交通基本法、移動権について考え方を検討中である。現在、パブリックコメントを実施しているので、皆さまからもご意見を出していただきたい。</p>
<p>その他 (全般について)</p>	<p>○テレビでデマンドシステムについての番組を放送していた。しっかり見ていなかったので詳しいことは分からないが、参考になると思う。内容を調べてもらいたい。</p> <p>⇒ (高瀬副会長) 放送していた番組内容のデマンドのシステムについては、生坂村でも導入していたが、費用がかかるという事から自前でやるということに変わった。</p>

西部地域コミュニティバスの利用状況について

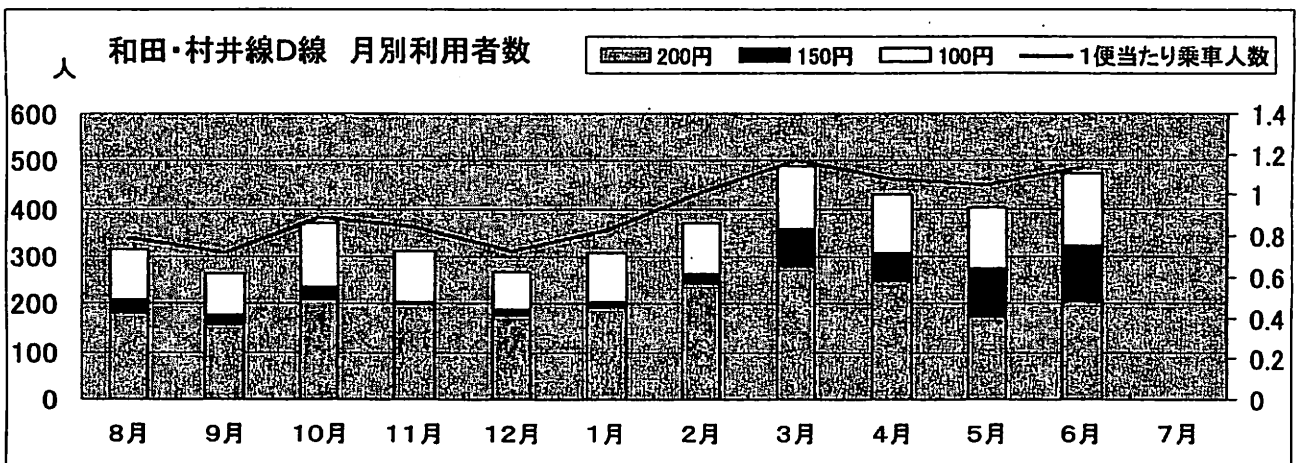
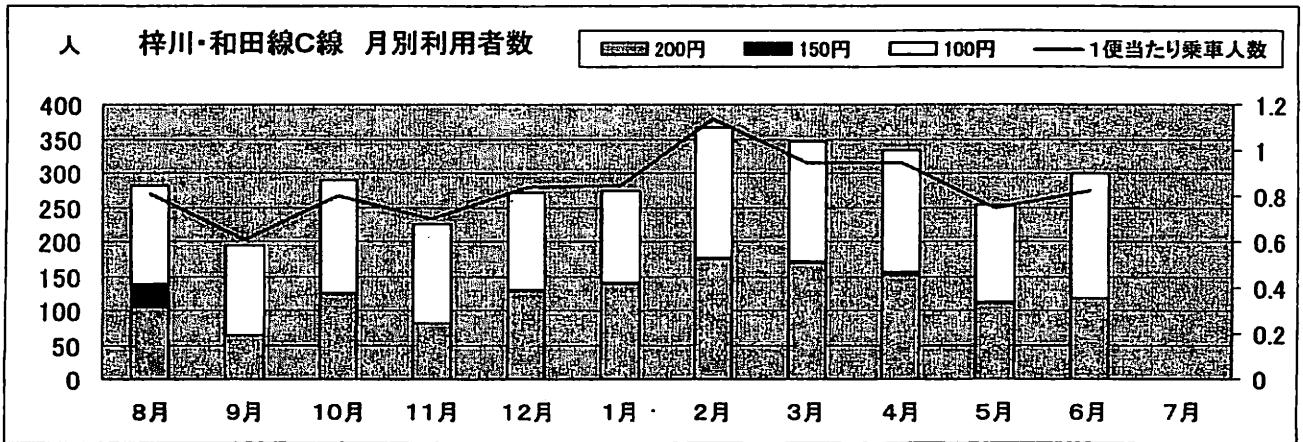
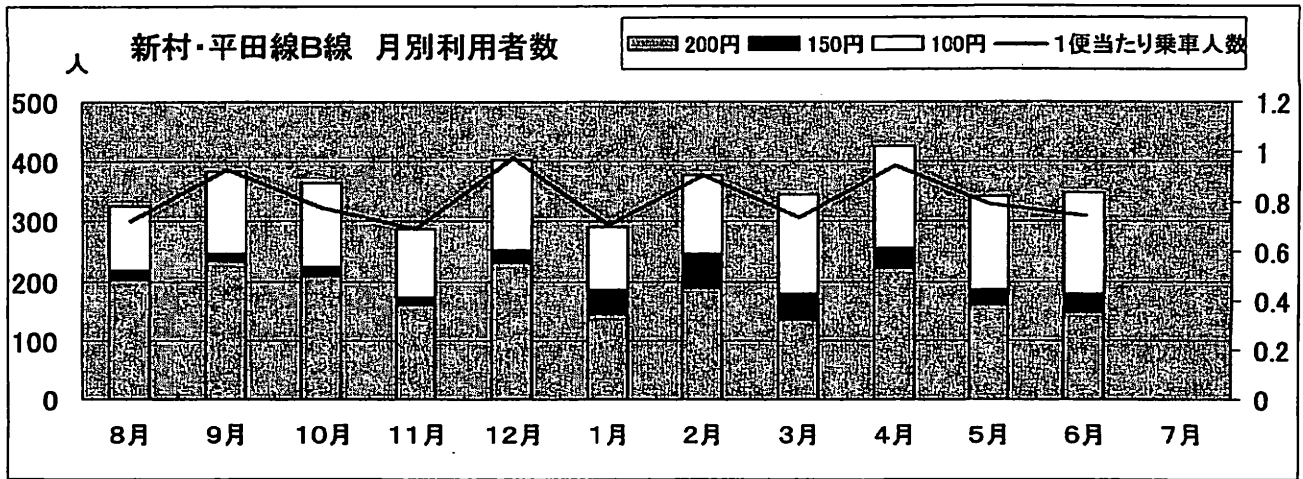
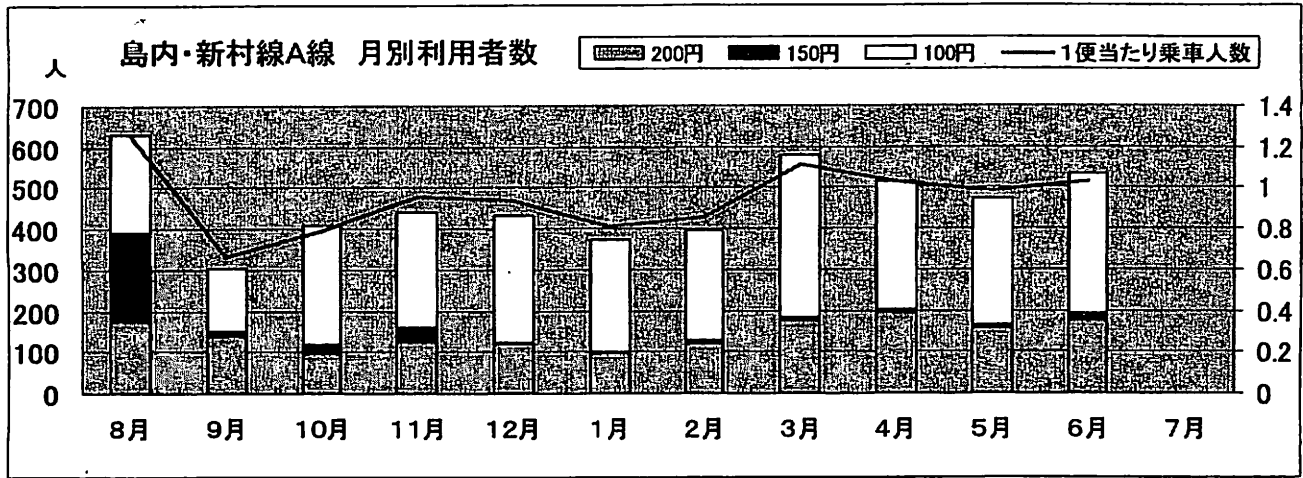
1 利用実績 (H21. 8. 3~H22. 6. 30)

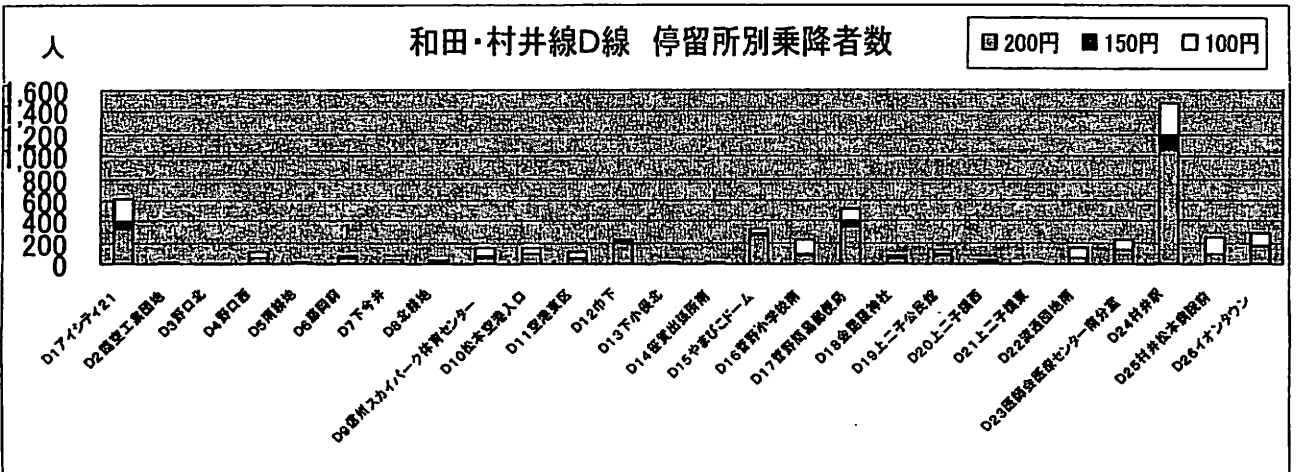
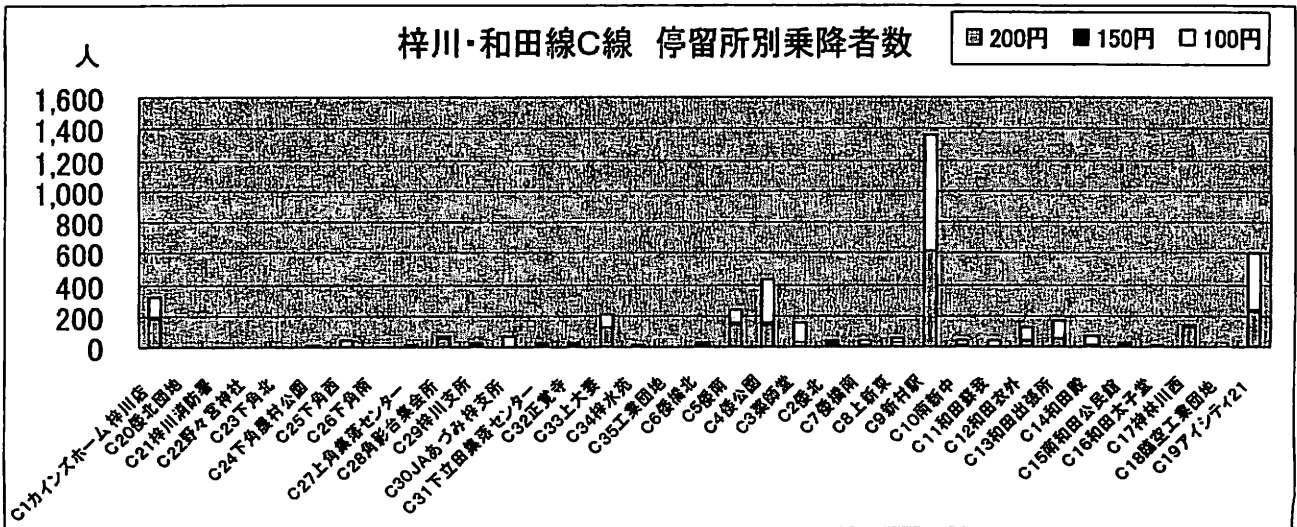
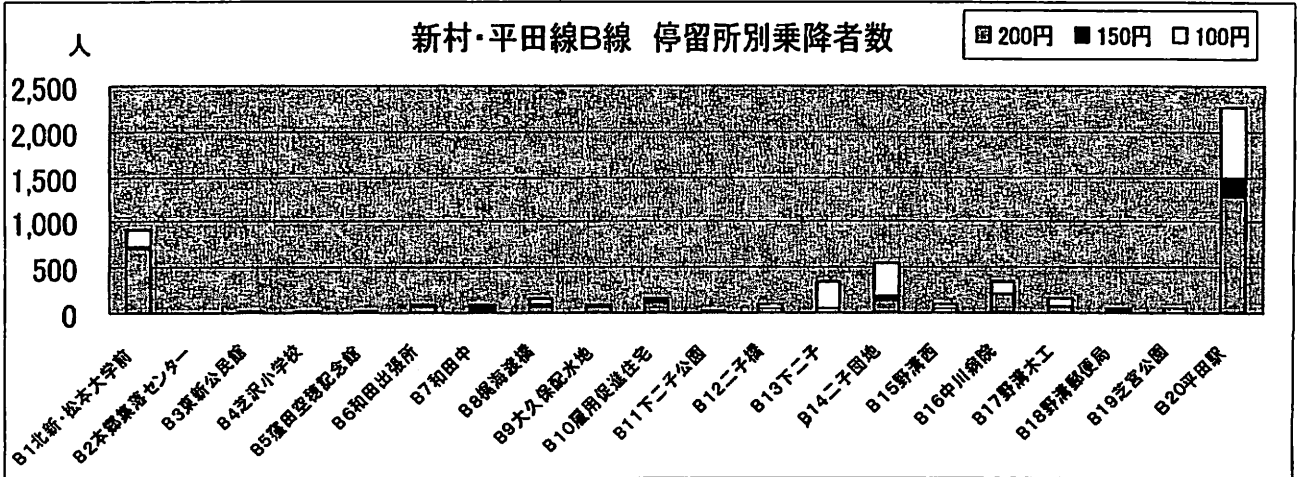
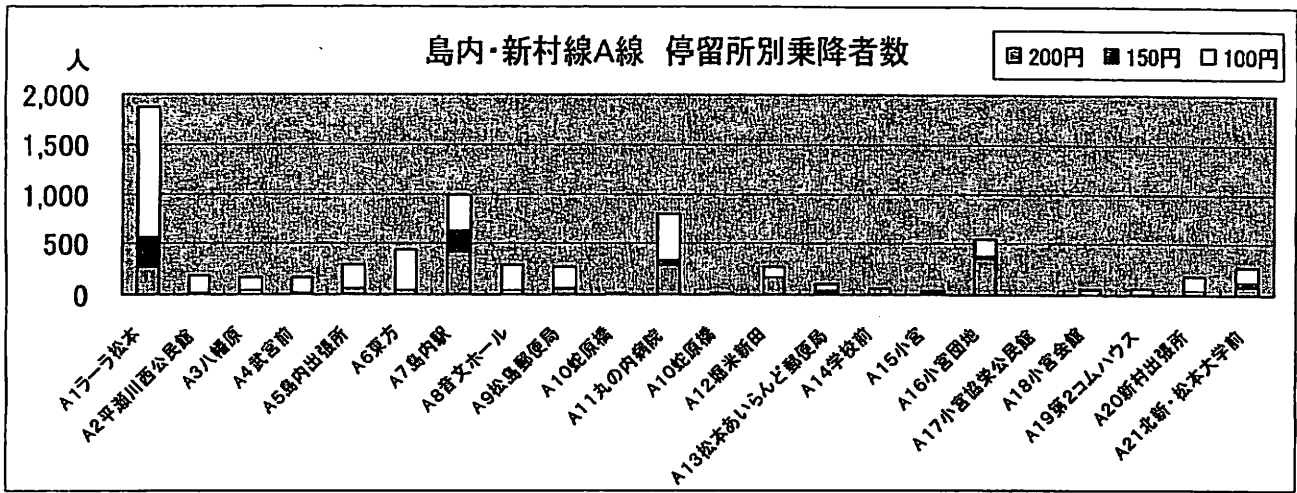
ルート名	島内・新村線A線	新村・平田線B線	梓川・和田線C線	和田・村井線D線	計	
運行便数	20便/日(22)	18便/日(20)	14便/日(20)	16便/日(21)	68便/日(83)	
利用者数	8月	629人	326人	282人	317人	1,554人
	9月	303人	385人	196人	264人	1,148人
	10月	412人	364人	291人	372人	1,439人
	11月	443人	287人	226人	311人	1,267人
	12月	433人	404人	272人	267人	1,376人
	1月	374人	292人	275人	307人	1,248人
	2月	394人	377人	367人	372人	1,510人
	3月	579人	345人	347人	488人	1,759人
	4月	517人	427人	334人	431人	1,709人
	5月	475人	343人	253人	404人	1,475人
	6月	536人	350人	299人	472人	1,657人
	合計	5,095人	3,900人	3,142人	4,005人	16,142人
1便当り利用者数	8月	1.26人	0.72人	0.81人	0.79人	0.91人
	9月	0.66人	0.93人	0.61人	0.72人	0.73人
	10月	0.79人	0.78人	0.80人	0.89人	0.81人
	11月	0.96人	0.69人	0.70人	0.85人	0.81人
	12月	0.94人	0.98人	0.84人	0.73人	0.88人
	1月	0.81人	0.71人	0.85人	0.83人	0.80人
	2月	0.86人	0.91人	1.14人	1.01人	0.97人
	3月	1.11人	0.74人	0.95人	1.17人	0.99人
	4月	1.03人	0.95人	0.95人	1.08人	1.01人
	5月	0.99人	0.79人	0.75人	1.05人	0.90人
	6月	1.12人	0.75人	0.82人	1.13人	0.94人
	平均	0.95人	0.82人	0.84人	0.94人	0.89人

2 月別利用者数



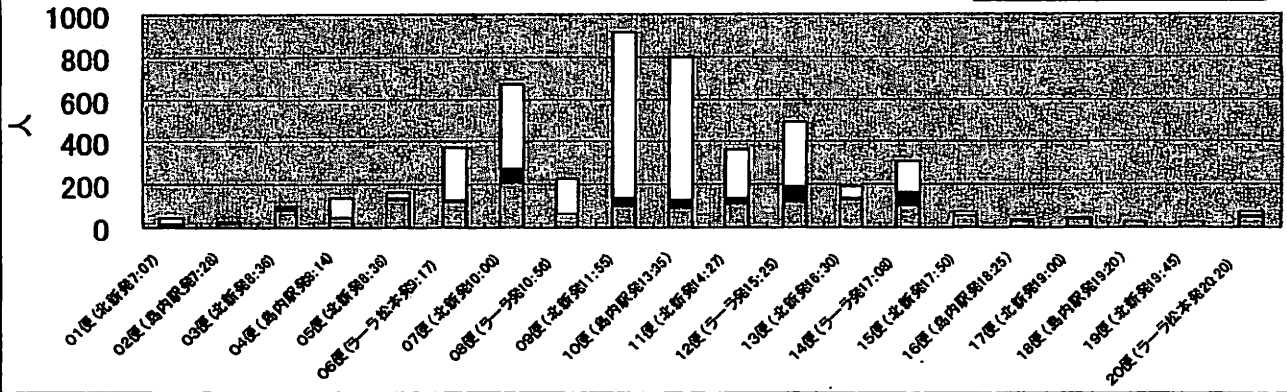
3 路線別利用実績





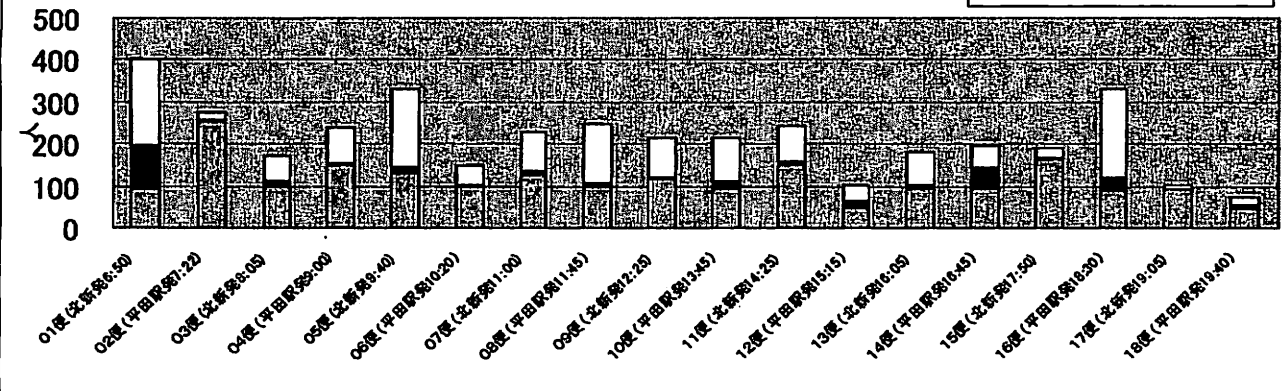
島内・新村線 A線 便別利用者数

■ 200円 ■ 150円 □ 100円



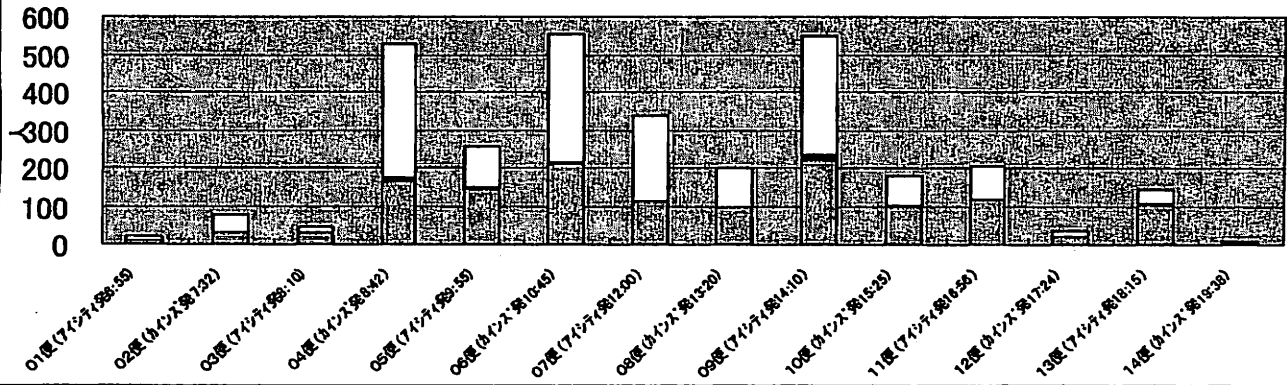
新村・平田線 B線 便別利用者数

■ 200円 ■ 150円 □ 100円



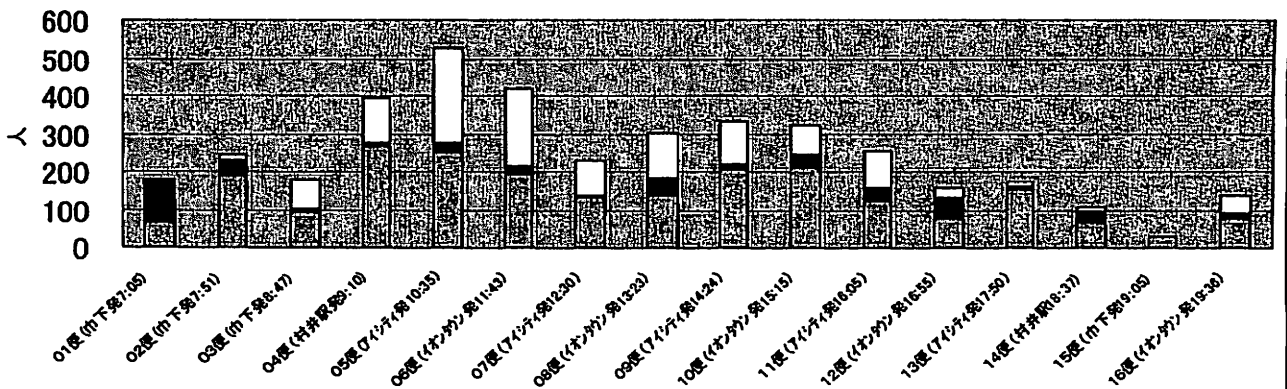
梓川・和田線 C線 便別利用者数

■ 200円 ■ 150円 □ 100円



和田・村井線 D線 便別利用者数

■ 200円 ■ 150円 □ 100円



安曇・奈川・波田地区住民の移動実態調査の実施について

1 実施方針

松本市西部地域公共交通総合連携計画に安曇・奈川・波田地区を加え見直しを行うにあたり、住民がどこに、何の目的で、いつ、どれだけの頻度で、どのような手段で移動しているか等の移動実態の把握を行うため、アンケート調査を実施するもの。

2 実施内容

(1) 対象

安曇・奈川・波田地区の全世帯を対象。高校生以上の世帯構成員調査とする。

(約6,600世帯)

(2) 調査時期 7月30日から8月23日までの間

(3) 配布・回収

①配布 ⇒ 広報まつもと8月1日号配布時に町会を通じて配布

②回収 ⇒ 8月23日までに町会を通じて安曇・奈川・波田支所に回収

(4) 方式

回答は1世帯5名までとし、高校生以上の方が6名以上の場合は、運転免許を持たない方、交通に不便を感じている方を優先し、無記名、地図及びリストから選択する方式とする。(別紙のとおり)

3 アンケート原案

(1) 内容

地区住民の目的別、利用者(年齢層)別、利用時間帯別の移動需要を把握するための設問とする。

(2) 設問趣旨

①地区住民の属性に関するもの

②平日の移動に関する目的、頻度、移動先、手段、時間及び家族送迎に関するもの

③公共交通に対する意識及び既存の公共交通機関に関するもの

西部地域コミュニティバス出発セレモニーについて

1 概要

コミュニティバスの路線見直しを行うにあたり、4線の結節点となっている新村駅において出発セレモニーを行うもの。

2 日時

8月2日(月) 午前9時20分から10時

3 場所

上高地線 新村駅

4 主催

松本市西部地域公共交通協議会(松本市交通政策課)

5 出席者

松本市西部地域公共交通協議会委員及び地域住民等

6 スケジュール

(1) 開会	9時20分
(2) 主催者あいさつ	
(3) 来賓あいさつ	
(4) 来賓紹介	
(4) 花束贈呈	
(5) A線、C線発 見送り(3名位乗車)	9時40分
(6) D線発 見送り(3名位乗車)	9時45分
(7) B線発 見送り(3名位乗車)	9時50分
(8) 閉会	10時00分

7 その他

- (1) 出発セレモニーへの各委員の出席をお願いいたします。
- (2) 地域住民の出席についてご協力をお願いいたします。